

「桜洲小学校の桜島小池島廻り踊り伝承活動の取組」

1 学校名

鹿児島市立桜洲小学校

2 学年・人数

5・6年生（計32人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和元年5月 桜洲小学校体育館・校庭

(2) 発表の日時・場所

令和元年5月26日（日）11：00 桜洲小学校運動会

令和元年10月13日（日）10：30 桜島地域大運動会

令和2年2月23日（日）10：30 桜洲校区ふるさと文化祭

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

桜島小池島廻り踊り（さくらじまこいけしままわりおどり）

(2) 由来

今から約100年以上前，島津光久公の時代，桜島では，地域ごとに小さい船を使って桜島の周りを一周する「島廻り競争」が行われていた。

大正3年の爆発後，島周り競争は，区間ごとに行われ，その競争を応援するために，小池浜で踊っていたのが「小池島廻り踊り」である。1961年（昭和11年）には，市無形芸能文化財に指定された。

(3) 構成等

踊り連は，円形になり，保存会のお囃子に合わせて小舟の艫を漕ぐ様子や雄大な桜島や錦江湾を形取った様子を表現して踊る。

現在は，発表会場の広さや参加人数に応じて，隊形を変えながら踊っている。

5 保存会や地域との連携の具体

毎年5月の小学校運動会において，この「小池島周り踊り」を伝承・披露するため，小池島廻り保存会の方々に，児童への細かい指導をお願いしている。

また，桜島地域大運動会や桜洲校区ふるさと文化祭でも，5，6年生と一緒に踊っている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

保存会の方々が伝承している踊りを，子供たちが踊りやすいように，保存会の方が一部，簡素化しつつ，歌に合うようにしている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）

毎年、5・6年生が運動会等で踊りを披露しているのですが、下学年児童も自分たちも高学年になると学ぶのだという心構えができています。

また、会長をはじめ保存会の方々が丁寧に指導して下さるので、初めて習う5年生も、踊りの覚えが早く、発表会当日は、自信を持って堂々と発表することができています。



体育館での基本練習



暑い中、校庭での練習



桜洲小大運動会での発表



保存会の方々と一緒に発表

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【参加児童】

- ・ たくさんの方から大きな拍手をもらってうれしかった。
- ・ 大勢の観客の前で踊るのは、恥ずかしかったけど、最後まで間違えずに踊ることができてよかった。
- ・ 桜島地域運動会するとき、保存会の人たちの踊りを見て、やっぱり本物はちがうなあと思った。私も、もっと上手に踊れるようになりたいと思った。

【教職員】

- ・ 郷土の伝統芸能を学び、多くの方々の前で披露できることは、とても価値があると思った。ここ桜島で育つ子供たちが、この「桜島島廻り踊り」を大切に守り育てるとともに、下の世代にもしっかりと受け継いでくれることを期待している。

【保存会】

- ・ 郷土に伝わる小池島廻り踊りを小学生と保存会と一緒に練習し、地域住民の前で踊ることができ、ありがたく感じている。卒業しても、この伝承を続け、地域に誇りをもって生きる子供たちに成長してくれることを願っている。